



公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HALO みんなの星		
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・レクリエーションの小グループ化による 個々への適切な支援	運動から工作、SSTなど様々なレクリエーションで 児童の状況や発達レベルに応じた組み分けを行うことで 児童自身の能力が発揮できることや自己肯定感、挑戦しようとする 姿勢が見られるようになった。	小グループ化することでより個別感が強く適切な支援が出来 ているが、集団だからこそ出来る人間関係や関わり方などの 訓練としてのレクリエーションの場も、もう少し要素として 増やしていけるように、児童とスタッフではなく児童同士で 作り上げるようなレクリエーションを考案していく。
2	・保護者、関係機関との連携	日々の連絡や細かな報告を心がけており 児童の小さな変化にも気付けるようにスタッフ間での 情報共有もこまめに行っている。	情報共有だけに収まらず、事業所での児童の様子をよりリア ルに感じていただけるような保護者の参加するレクリエー ションを考案する。
3	・チーム支援での支援の質が向上	老若男女いろいろな経験をしてきたスタッフが集まり みんなの星が形成されている。 時には保育士の視点で、時には理学療法士の視点で 一人の児童に対して様々な視点で観察し、本当の困りごとはな んなのかを考える。そのような支援が出来ていると感じる。	各スタッフが自分の所感を他のスタッフと共有し 支援を行う。ということは日々実践できてはいるが より支援の質を上げるためには第三者の意見として ケース会議などもより実施していければと思う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との交流やペアレントトレーニング	情報共有や報告に関しては上記のように強みと思う。 しかし、保護者を招いたレクリエーションを定期的な実施では 出来ておらず、交流という点ではまだまだ課題が残る。都度、 保護者様からのお悩みなどのご相談はいただいているが、それ も自身で発信することが出来る方で内なるニーズにはまだお応 えできていない。	まずは定期的な保護者様参加のレクリエーションの実施・ 計画をし予定として組み込んでいく。 内なるニーズに関しては話していただけるような信頼関係の 構築、それが第一かと思しますので信頼関係が築けるような レクリエーションの機会の設定と交流の機会の設定。
2	・支援の統一がまだ不完全	総合的な支援の指針もあり、方向は同じ向きを向いてはいる が、スタッフのアプローチの違いにより児童が混乱してしまう といった状況が生まれる。	全体の支援の統一ではなく、一人の児童への統一を目指し、 児童の情報だけでなく支援方法まで共有できるようにミー ティングなどの機会、質の向上が必要。
3	・研修の機会	入社研修はあるが、実務の中で薄れていく知識や意識 を持ち直す機会の設定が行われるとよい。 定期的に行われる法定研修以外でも機会があるとよい。	虐待防止や防災に関する研修機会は設けられているが ケースや事案を検討してみるような研修を設定する。